



世界遺產

平泉



平泉—仏国土[浄土]を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—
World Heritage HIRAZUMI
Hirazumi-Temples, Gardens and Archaeological Sites Representing the Buddhist Pure Land



中尊寺



世界遺産

平安美術の宝庫
三千有余点の国宝・重要文化財

金色堂内陣 (中央壇)

1. 金色堂新覆堂
2. 本堂
3. 経蔵
4. 紺紙金銀字交書一切経 見返し絵
5. 金銅華鬘 (こんどうけまん)

中尊寺は嘉祥3年(850)、比叡山延暦寺の高僧慈覚大師円仁によって開かれました。

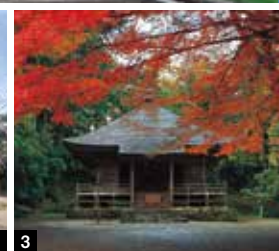
その後、12世紀のはじめに奥州藤原氏初代清衡公によって大規模な堂塔造営が行われています。

清衡公の中尊寺建立の趣旨は、11世紀後半に東北地方で続いた戦乱(前九年・後三年合戦)で亡くなった生きとし生けるものの霊を敵味方の別なく慰め、「みちのく」といわれ辺境とされた東北地方に、仏国土(仏の教えによる平和な理想社会)を建設する、というものでした。それは戦乱で父や妻子を失い、骨肉の争いを余儀なくされた清衡公の非戦の決意でもあります。

中尊寺創建当初の姿を今に伝える金色堂は天治元年(1124)に上棟されました。堂の内外を金箔で飾った「皆金色」の阿弥陀堂です。堂内の装飾には目を奪われます。4本の巻柱や須弥壇(仏壇)、長押にいたるまで、白く光る夜光貝の細工(螺鈿)、透かし彫りの金具・金や銀の蒔絵と、平安時代後期の工芸技術を結集して荘厳されていることから、堂全体が一つの美術品にも感じられます。



紺紙金銀字交書一切経 維摩詰経巻下





浄土庭園大泉が池

世界遺産



毛越寺

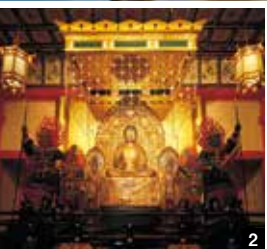
特別史跡・特別名勝

浄土世界を表現する日本を代表する庭園

1. 出島石組と池中立石
2. 本堂内陣
3. 本堂
4. 常行堂
5. 遣水 (やりみず)



1



2



3



4



5

毛越寺は中尊寺と同じく嘉祥3年(850)に慈覚大師円仁が開山し、二代基衡公もとひらから三代秀衡公ひでひらの時代に多くの伽藍が造営されました。往時には堂塔40僧坊500を数え、中尊寺をしのぐほどの規模だったといわれています。奥州藤原氏滅亡後、度重なる災禍ですべての建物が焼失しましたが、大泉が池を中心とする浄土庭園と平安時代の伽藍遺構がほぼ完全な状態で保存されており、国の特別史跡・特別名勝の指定を受けています。

庭園の作者は不明ですが、いたるところに『作庭記』の意匠さくていきが見られることから、「造園」に精通した者の意匠であることがうかがえます。広大な池泉を中心として作庭されており、中

島が二島、南側に出島や立石が造られています。大きい方の中島のほぼ正面に金堂跡があり、両側に鐘楼跡と鼓楼跡があります。作庭当初においては、中島から南大門に反り橋を架けてつないでいたといわれ、寝殿造り風の意匠であったことがわかります。池のほぼ中央には勾玉状の中島が配され、池の周辺や中島には玉石が敷かれています。水際には海岸の風景を、また随所に山水の景観を映しており、中でも池の東南岸にある荒磯風の出島ありそは、この庭園の中で最も美しい景観の一つです。出島の先端に高さ2m余りの立石がほどよい傾きをもって立ち、広い水面を引き締めています。



世界遺産



世界遺産



世界遺産

浄土の風ふきわたる阿弥院の寺院 観自在王院跡

二代基衡公の妻が建立したと伝えられる寺院跡。ほぼ完全に残っている浄土庭園の遺構は平安時代に書かれた日本最古の庭園書『作庭記』の作法どおりと考えられています。池の北岸に大阿弥陀堂と小阿弥陀堂が設けられていたことから、極楽浄土を表現した庭園といえます。



1200年の歴史を誇る 達谷窟毘沙門堂

創建1200年の歴史を持つ達谷窟毘沙門堂は平泉最古の寺社であり、みちのく随一の霊場として有名です。神秘のパワースポットとして人気がある窟毘沙門堂はじめ、境内には来訪者の開運を約束する神仏が数多くまつられています。日本北限であるといわれる「岩面大佛」(磨崖佛)も必見です。



岩面大佛

日本史の英雄・源義経、終焉の地 高館

高館は中尊寺の東方にある丘陵で、判官館とも呼ばれています。源義経公最期の地と伝わる高館には義経堂が建ち、弁慶が立ち往生したという衣川が生まれ、眼下には北上川が流れています。



義経堂

平等院鳳凰堂を模した壮大な伽藍 無量光院跡

三代秀衡公が、宇治平等院の鳳凰堂を模して建立した寺院跡。調査の結果、翼廊の左右が鳳凰堂より大きく、平等院を超えようとした意志が感じられます。建物の中心線は西の金鶏山と結ばれており、その稜線上に沈む夕日に極楽浄土をイメージした、浄土庭園の最高傑作といわれています。



奥州藤原氏の拠点 柳之御所遺跡

柳之御所遺跡は、奥州藤原氏の政庁「平泉館」跡と推定されています。発掘調査により大型建物や堀、塀、池、井戸とともに、中国産の磁器、東海地方産の陶器類、さまざまな木製品や大量消費された「かわらけ」等、当時の生活遺物が豊富に出土しています。



平泉の東の風景を彩る山 東稲山(さくら山)

平安時代には全山桜で埋めつくされたことから「さくら山」とも呼ばれています。平泉を訪れた西行が「ききもせず たばしぬ山のさくら花 吉野のほかにかかるべしとは」と詠みました。

まちづくりの基準となった象徴の山 金鶏山

中尊寺と毛越寺のほぼ中間に位置する円すい状の山。頂上には経塚があり、「平泉を守るため黄金の鶏を埋めた」や「北上川まで人々を並べ、一晩で築いた山」などの伝説が残っています。松尾芭蕉が『おくの細道』の中で、「秀衡が跡は田野となりて、金鶏山のみ形をのこす」と記した、数々の伝説に彩られた山です。

見学施設



平泉文化遺産センター

平泉文化遺産センターでは、町内の各遺跡の貴重な出土遺物を多数展示しているので、往時の平泉の生活を感じることができます。平泉の歴史を図解した上で、重要文化財なども展示しています。史跡を訪れる前に見学いただくと、より平泉の歴史を理解することができます。



岩手県立平泉世界遺産 ガイダンスセンター

岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンターは、世界遺産の価値を広く世界中に伝え、人類共通の財産として後世へ継承するための拠点となる施設です。世界遺産及び関連する遺跡へ周遊の出発点として、ワイドスクリーンの映像やジオラマなどでその価値や特徴を分かりやすく紹介しています。

浄土への想い

〔奥州藤原氏初代清衡公、仏国土建設の夢〕

『中尊寺建立供養願文』に込められた、鎮魂・平和希求・万物共生の祈り



藤原清衡 (1056 ~ 1128)

波乱の青年時代

藤原清衡公は、陸奥国亶理(現・宮城県)の豪族の経清の子として生まれました。父が前九年合戦で源頼義に反旗をひるがえして最期を遂げると、母が敵将であった清原武則の長男・清原武貞に再嫁することで死を免れると共に、母の連れ子として清原家の一族となりました。その後、清原一族は係累がかなり複雑であったことから内紛が絶えず後三年合戦が勃発。争いは繰り返され、清衡公は妻子も亡くしましたが、最後まで生き延び、一族唯一の生存者として奥六郡を領有することとなりました。時に寛治元年(1087)清衡公32歳の事です。

奥州の覇者誕生

本拠地を江刺郡豊田館(現・奥州市)に構え、実父の姓である藤原に復し、奥州藤原氏の祖となり勢力の拡大を図る一方、京都の藤原氏に馬や砂金を贈って交誼を深め、また、柴田郡の大高山神社・刈田郡刈田嶺神社の年貢金を代納するなどして、奥羽の統治者としての地位を築きました。1100年ころには平泉に居を移して政治文化の中心都市の建設に着手し、中央の仏教文化を導入して中尊寺を再建します。こうして、平泉に壮大な都市を建設し、中央政権と一線を画した平泉四代90年の時代を実現しました。金銀螺鈿を散りばめた金色堂を中心とした中尊寺落慶の2年後、当時としては長命の73歳で没しています。

中尊寺建立供養願文に誓う

清衡公は長治2年(1105)より中尊寺の造立に着手します。まず東北地方の中心にあたる関山に一基の塔を建て、境内の中央に釈迦・多宝如来が並座する多宝寺を建立し、続いて百余体の釈迦如来を安置した釈迦堂を建立します。この伽藍建立は『法華経』の中に説かれる有名な一場面を具体的に表現したものでした。そして中尊寺建立供養願文のなかで、東北地方で続いた戦乱(前九年・後三年合戦)で亡くなった生きとし生けるものの霊を敵味方の別なく慰め、「中央に抵抗しつづけたまつろわぬ人、蝦夷」と蔑まれた人々が住み辺境とされた東北地方に、仏国土(仏の教えによる平和な理想社会)を建設する」と宣言します。それは戦乱で父や妻子を失い、骨肉の争いを余儀なくされた清衡公の非戦の決意でもありました。



中尊寺建立供養願文〔重要文化財〕(部分)

平 泉 文 学 散 歩

- ① 山口青邨句碑 「人も旅人 われも旅人 春惜しむ」
場所/中尊寺能楽堂前
建碑/昭和35年、東北夏草会
- ② 松尾芭蕉句碑 「五月雨の 降残してや 光堂」
場所/中尊寺金色堂
建碑/延享3年(1746)、山目山笑庵連中
- ③ 松尾芭蕉句碑 「夏草や 兵どもが 夢の跡」
場所/毛越寺南大門跡の傍
建碑/宝暦7年(1757)、芭蕉の甥確花也夢禪師
芭蕉の真筆ともいわれる
- ④ 遠藤梧逸句碑 「清衡の 願文の意の 大文字」
場所/中尊寺東物見台
建立/昭和40年
- ⑤ 西行法師歌碑 「き、もせず 束稲やまのさくら花
よし野のほかに かゝるべしとは」
場所/中尊寺東物見台
建立/昭和35年

- ⑥ 加藤楸邨句碑 「那野や みちのおくなる 一挽歌」
場所/ウォーキングトレイル新奥の細道展望地
建立/平成5年
- ⑦ 宮沢賢治詩碑
七重の舍利の小塔に
蓋なすや 緑の燐光
大盗は銀のかたびら
おろがむとまづ膝だてば
緒のまなこたつぶらにて
もろの眩映えかゞやけり
手触れ得ね舎利の寶塔
大盗は禮して没ゆる
場所/中尊寺金色堂入口
建立/昭和34年、金色堂850年記念にて



松尾芭蕉像
場所/金色堂旧禮堂の傍(平成元年作)



中尊寺能「秀衡」



延年の舞「老女」

中尊寺能

中尊寺の御神事能は、近世以来一山僧侶によって厳格に継承されてきました。この舞台上で地謡方をつとめるのは、桜本坊（喜多流シテ方）の指導で謡曲を習得した人たちです。



春の藤原まつり（源義経公東下り行列）



毛越寺曲水の宴



平泉大文字送り火



平泉水かけ神輿



中尊寺新能



中尊寺菊まつり

毛越寺延年

毎年正月20日に常行堂で行なわれる摩羅神の例祭（二十日夜祭）に、法要のあとに奉納されるのが「延年の舞」です。延年とは齢を延べる、つまり長生きをするという意味で、転じて諸大寺で法会のあとに僧侶らによって演じられる遊宴歌舞の総称として用いられるようになり、平安時代から室町時代にかけて盛んに行なわれました。

毛越寺の延年は古い形を残していることで知られ、国の重要無形民俗文化財に指定されています。また、延年の舞は二十日夜祭のほか春・秋の藤原まつり、あやめ祭り、萩まつりにも一部公開されます。



毛越寺萩まつり



毛越寺二十日夜祭

平 | 泉 | 歳 | 時 | 記

開催期日	イベント（場所）
1月1日	元朝詣り（中尊寺・毛越寺・達谷西光寺）
1月20日	毛越寺二十日夜祭（毛越寺）
2月初旬	中尊寺節分会（中尊寺）
5月1日～5日	春の藤原まつり 郷土芸能（1・2・4日 町内）
1日	稚児行列（中尊寺）
2日	源義経公主従道善法要（高館）
3日	源義経公東下り行列（中尊寺・毛越寺）
4日	中尊寺神事能（中尊寺） 毛越寺哭き祭り（観自在王院跡）
5日	中尊寺神事能（中尊寺） 毛越寺延年の舞（毛越寺） 弁慶力餅競技大会（平泉駅前）
5月第4日曜日	毛越寺曲水の宴（毛越寺）
6月20日～7月10日	毛越寺あやめ祭り（毛越寺）
7月中旬	平泉水かけ神輿（町内）
8月14日	中尊寺新能（中尊寺）
8月16日	毛越寺法灯会（毛越寺） 平泉大文字送り火（町内）
9月15日～30日	毛越寺萩まつり（毛越寺）
10月20日～11月15日	中尊寺菊まつり（中尊寺）
11月1日～3日	秋の藤原まつり（中尊寺・毛越寺）

[令和6年4月現在]

料金案内

拝観料・入館料						
	大人	高校生	中学生	小学生	30名以上	100名以上
中尊寺 平泉町平泉字衣関202 ☎0191-46-2211(代)	¥1,000	¥700	¥500	¥300	10%割引	20%割引
拝観時間／3月1日～11月3日▶8:30～17:00 11月4日～2月末日▶8:30～16:30						
毛越寺 平泉町平泉字大沢58 ☎0191-46-2331	¥700	¥400	¥200		10%割引	20%割引
拝観時間／3月5日～11月4日▶8:30～17:00 11月5日～3月4日▶8:30～16:30						
高館 義経堂 平泉町平泉字柳御所14 ☎0191-46-3300 ☎0191-46-2331(毛越寺)	¥300		¥100		10%割引	20%割引
拝観時間／8:30～16:30(最終受付16:15) (11月21日～3月14日 冬期休館)						
達谷窟毘沙門堂 平泉町平泉字北沢16 ☎0191-46-4931	¥500	¥200	無料*1		10%割引	
拝観時間／8:00～17:00 (季節により変動あり～16:30) *1教育旅行は¥200						
平泉文化遺産センター 平泉町平泉字花立44 ☎0191-46-4012	無料					
開館時間／9:00～17:00(16:30までに入館) 休館日／年末年始						
岩手県立平泉世界遺産ガイドセンター 平泉町平泉字伽羅楽108-1 ☎0191-34-7377	大人¥310(20名以上¥140)		学生¥140(20名以上¥70)		高校生以下無料	
開館時間／4月～10月▶9:00～17:00 11月～3月▶9:00～16:30 (最終入館は各閉館時間の30分前) 休館日／毎来日(土曜・日曜の場合は前日) 年末年始・資料整理日						
平泉文化史館 平泉町平泉字坂下10-7 ☎0191-46-2011	¥310	¥150	¥100		10%割引	20%割引
開館時間／9:00～16:00(12月から3月は不定休)						

ガイド料金

	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人
平泉町観光ガイド事務所 平泉町平泉字坂下9 ☎・FAX0191-46-4203 ※右表は中尊寺案内時の料金です。 案内コース・料金等はお問い合わせください。	一般 ¥3,300	¥4,400	¥4,950	¥5,500	¥6,050
	高・中・小 ¥3,300	¥3,850	¥4,400	¥4,950	¥5,500
(一社)古都ひらいずみガイドの会 ☎0191-46-5710 FAX0191-46-3518 (9:00～16:00)	2時間以内ガイド1人に付き		基本料金 ¥3,500	2時間を超える場合 1時間毎の時間加算料金 ¥1,000	
対象は1～20人。21人以上の場合は、ガイド1人当たり20人を目安に複数班の編成をお願いします。 4月中旬～11月初旬は、毛越寺に常駐しています。 毛越寺のみのガイド(ガイド時間50分)の場合は、1～5人は一律1,000円、6～10人は対象1人増につき200円加算、11人～は2,000円です。					
岩手ひらいずみ通訳ガイドの会 岩手ひらいずみ通訳ガイドの会事務局 ☎0191-48-3762 FAX0191-46-3518 (9:00～16:00)	2時間まで10,000円 2時間を超え、1時間ごとに5,000円加算 ※交通費、食事代、宿泊代等の実費は別途ご依頼内容に応じてお見積りもりますのでお気軽にお問い合わせください。				
	〈翻訳〉ご依頼内容ごとに料金が異なりますので詳しいことはお問い合わせください。				
※ガイドは事前予約制となります。 ※県外発着についても、ご相談に応じます。 ※各言語でのお問い合わせはFAXまたはメールでお願いします。					

※内容は令和6年4月現在のもので、予告なく変更になる場合もございますので、詳細はお問い合わせください。

味 ◆ 平泉ならではの味に、舌鼓。



盛り出し式わんこそば、餅料理、精進料理、はっと料理など、平泉ならではの味をたっぷりご賞味ください。
◎(一社)平泉観光協会 ☎0191-46-2110

体験 ◆ 心と体に、心地良い。



旅の思い出に、写経や坐禅体験はいかがですか？
日 時◎随時(要予約)
予約先◎中尊寺/☎0191-46-2211
毛越寺/☎0191-46-2331

交通案内

[令和6年4月現在]

レンタカー	レンタサイクル
平泉レンタカー ☎0191-46-4190 5人乗り…3時間¥2,200(30kmまで) 10人乗り…3時間¥4,400(50kmまで)	平泉レンタサイクル [駅北隣] ☎0191-46-5086 一般自転車…4時間¥700 / 1日¥1,300 電動自転車…4時間¥900 / 1日¥1,600 ※1時間増すごとに¥300 ※雨天・冬期は状況による

タクシー	路線バス
一関平泉タクシー ☎0191-23-5630 なのはな観光タクシー ☎0191-23-1111 県南タクシー ☎0191-46-2336 一関中央交通 ☎0191-31-3333 アイタクシー ☎0191-25-6666	岩手県交通 ☎0191-23-4250 一関～イオン前沢間 常時運行

平泉巡回バス「るるん」		
※4月中旬～11月下旬の土・日・祝日のみ運行		
巡回バス「るるん」 平泉駅前…毛越寺…悠久の湯平泉温泉…平泉文化遺産センター…中尊寺…高館義経堂…無量光院跡…道の駅平泉…平泉駅前	大人¥200 子供¥100 1日フリー券 ¥550	運行情報はコチラ
問い合わせ先 岩手県交通一関営業所 ☎0191-23-4250		

町営駐車場				
	大型車 30人乗り以上	マイクロ 11～29人乗り	普通車 10人乗りまで	自動二輪車
中尊寺第1駐車場 150台 ☎0191-46-2008	¥950	¥800	¥400	¥50
中尊寺第2駐車場 304台 ☎0191-46-5178	¥950	¥800	¥400	¥50
毛越寺駐車場 330台 ☎0191-46-2078	¥750	¥600	¥300	¥50

音声ガイドペン

◎平泉町内音声ガイド(音声ペン)
(日本語・英語・中国語・韓国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語)

- 平泉町内の説明用として音声ガイド(音声ペン)を貸出しています。
- 貸出・返却所
平泉駅前観光案内所
中尊寺月見坂入口(タクシー事務所)
- 料金…¥500/台

問合せ先
(一社)平泉観光協会
☎0191-46-2110 FAX0191-46-2117

平泉ポータブル観光ガイド

平泉町内に設置された29カ所のQRコードを読み取ることで、世界遺産関連スポットの観光ガイドや、音声ガイドをご利用いただけます。

表示可能言語(2カ国語)
日本語、英語

使い方やQRコード設置場所は紹介サイトをご覧ください。

問合せ先
平泉町観光商工課 ☎0191-46-5572 FAX0191-46-3080

味 ◆ 平泉ならではの味に、舌鼓。

体験 ◆ 心と体に、心地良い。

土産 ◆ 平泉の魅力を伝える、逸品。

1. 伝統工芸「秀衡塗」
2. 平泉のどぶろく「一音」
3. りんごジュース「平泉」
4. 平泉銘菓「弁慶力餅」

平泉町内市街地マップ



- 東北自動車道平泉前沢IC～中尊寺 約3.4km (車で約6分)
- 毛越寺 約5.0km (車で約8分)
- 東北自動車道平泉SIC～中尊寺 約3.2km (車で約5分)
- 毛越寺 約2.5km (車で約4分)

るるんバスルート

るるんバス停

- 1 平泉駅前
- 2 毛越寺
- 3 悠久の湯平泉温泉
- 4 平泉文化遺産センター
- 5 中尊寺
- 6 高館義経堂
- 7 無量光院跡
- 8 道の駅平泉

※4月中旬から11月下旬の土・日・祝日のみ運行

凡例

- 公共トイレ
- 観光案内所
- 銀行
- 国際ATM
- るるんバスルート
- 病院
- 急勾配
- 公共電話
- 徒歩ルート
- 寺
- 神社
- 石碑・石碑

※徒歩時間は時速3kmで表示

ACCESS INFORMATION

■ 鉄道

東京	東北新幹線・約2時間5分	一ノ関	約7分	平泉
仙台	約31分			
盛岡	約37分			
新青森	約1時間40分			
花巻	東北本線・約55分			

■ 東北自動車道

浦和IC	約4時間15分 (419.9km)	平泉前沢IC	約5分 (7.7km)	平泉
仙台宮城IC	約58分 (92.3km)			
一関IC	約4分 (4.4km)			
盛岡IC	約59分 (12.1km)			
秋田中央IC	約2時間6分 (158.5km)			

■ 飛行機

【いわて花巻空港】

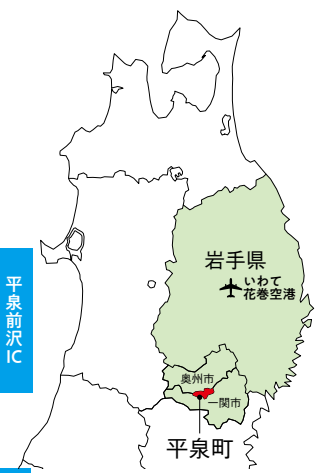
札幌	1時間	花巻空港	車で約5分	平泉前沢IC
名古屋(小牧)	1時間10分			
大阪	1時間20分			
神戸	1時間30分			
福岡	1時間55分			

【仙台空港】

札幌	1時間10分	仙台空港	車で約10分	平泉前沢IC
中部国際	1時間15分			
小松	1時間			
大阪	1時間15分			
広島	1時間20分			

バスで約35分

福岡	1時間45分	仙台駅	約31分	一ノ関	約7分	平泉
電車	17分(快速)					



そして未来へ。

平泉は、仏国土(浄土)を直接的に表した建築・庭園の顕著で普遍的な価値が認められ、世界遺産に登録されました。平泉の歴史・文化は、さまざまな側面を持っています。私たちは、平泉の多様な価値をより広く伝えていくうえで、登録資産に関連する数多くの有形・無形の文化財もまた重要であると考えています。とりわけ、柳之御所遺跡・達谷窟(平泉町)、骨寺村荘園遺跡(一関市)、白鳥館遺跡・長者ヶ原廃寺跡(奥州市)は、平泉を理解する上で重要な遺跡です。平泉をさらに価値あるものとして世界にアピールするため、私たちは登録資産の追加・拡張をめざす取り組みを進めます。



観光のお問い合わせ

平泉町観光商工課
 〒029-4192 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山45-2
 ☎0191-46-2111(代)・46-5572(直通) FAX 0191-46-3080
<https://www.town.hirazumi.iwate.jp/>

(一社)平泉観光協会
 〒029-4102 岩手県西磐井郡平泉町平泉字泉屋61-7
 ☎0191-46-2110 FAX 0191-46-2117
<https://hirazumi.or.jp/>

